

現地調査を しました

厚生常任委員会
6月1日



学童保育所 おやつの時間の様子

こどもたちの放課後はどうなっている？

学童保育所を視察

学童保育所の現状を 視察

厚生常任委員会では、所管する市財産の55施設の点検や課題等を随時調査する仕組みとした。

今回は、他施設に先駆けて、長峰小学校区学童保育所並びに岡山小学校区学童保育所の2施設で、子育て支援課と運営受託者からの聞き取り及び施設の点検を6月1日に実施した。

現状と課題

◆長峰学童保育所

平成5年度に開設され、長峰児童センターの一部を使用して運営されていたが、平成26年度に長峰小学校敷地内に新築し現在に至っている。

定員80人に対し4月1日現在の入所登録者数は94人と定員超過の状況である。指導員7～8人に対応が難しい。

保護者の出迎え時の車両混雑や児童通路の安全確保に課題が見られた。

◆岡山学童保育所

平成9年度に開設され、その後増築をして現在に至っている。

定員79人に対し4月1日現在の入所登録者数は95人と定員超過の状況である。指導員5人で対応されている。

平成28年度は、空き教室を使用して運用されているが施設の増築が急がれる。

視察を終えて

両施設とも、スタッフの熱意と愛情あふれる指導に安心感を覚えられました。現代社会では保護者の勤務形態や周辺治安などから児童の安全・安心な施設として重要な施設であります。

今後調査を進めて各施設の課題解決に尽力していきます。



学童保育所内で視察する厚生常任委員会委員